

株式会社コメリ

2023年3月期 第3四半期

決算説明資料

(2022年4月1日～2022年12月31日)



<https://www.komeri.bit.or.jp/>

© 2023 KOMERI CO.,LTD.



2023年1月31日
東証プライム(8218)

2023年3月期 第3四半期 決算実績 (連結)



(単位：百万円)

	第3四半期 実績	営業収益比	前年比
営業収益	296,785	100.0%	101.0%
営業総利益	103,307	34.8%	100.3%
販売管理費	79,091	26.6%	101.6%
営業利益	24,215	8.2%	96.4%
経常利益	23,818	8.0%	93.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16,190	5.5%	94.5%

商品カテゴリー別実績



(単位：百万円)

	2023年3月期第3四半期			
	売上金額	前年比	荒利益率	前年差率
工具・金物・作業用品	53,883	100.5%	43.5%	▲0.05
リフォーム資材・エクステリア用品	44,973	102.2%	29.5%	▲0.77
園芸・農業・ペット用品	91,364	104.2%	31.1%	▲0.07
日用品・家電・カー・レジャー用品	56,620	98.3%	24.8%	+0.27
インテリア・家庭・オフィス用品	28,405	95.5%	40.5%	▲0.82
燃料他	7,665	98.7%	17.0%	▲1.26
その他	10,342	101.6%	100.0%	+0.00
ホームセンター事業計	293,255	100.9%	34.9%	▲0.22

- ・夏物は苦戦するも、核カテゴリーの売上は堅調に推移
- ・円安・原材料価格高騰の影響から、荒利益率は悪化

フォーマット別実績



	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期	
	売上 前年比	売上 既存比	売上 前年比	売上 既存比
パワー	103.8%	97.2%	102.4%	99.3%
P R O	153.8%	103.3%	148.0%	106.4%
ハード&グリーン	95.2%	94.9%	99.9%	99.8%
合計	97.9%	95.6%	100.9%	99.6%

- ・ 建設事業者様等の需要は継続しておりP R Oが好調
- ・ 園芸・農業資材の売上構成が高いハード&グリーンは堅調
- ・ 日用品、インテリアは各フォーマットで不調

販売管理費



(単位：百万円)

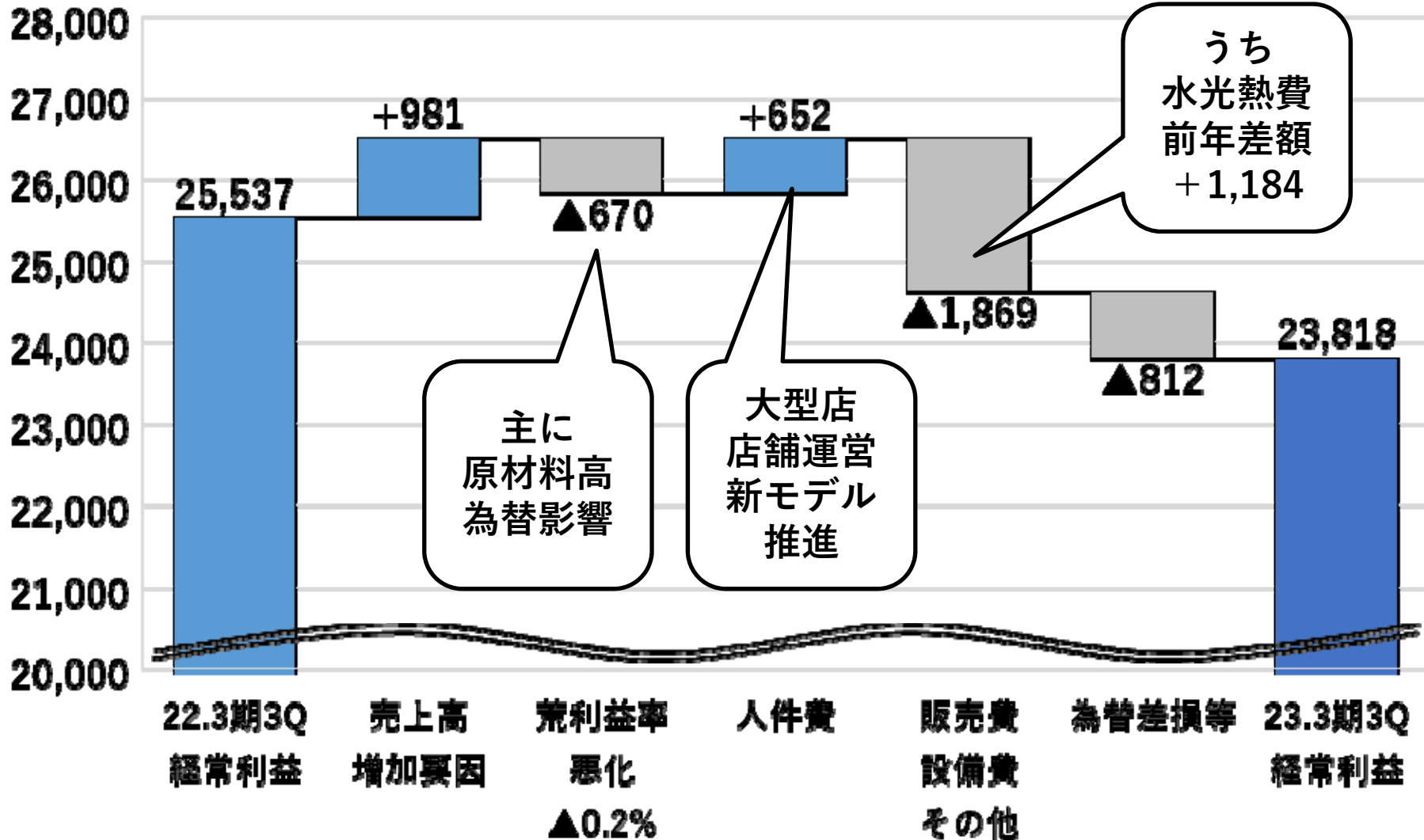
	2023年3月期 第3四半期		
	実績	前年比	前年差
人件費	35,212	98.2%	▲652
販売費	10,033	103.0%	+290
設備費	25,812	105.4%	+1,327
その他経費	8,032	103.2%	+252
合計	79,091	101.6%	+1,218

- 水道光熱費が前年比144.5%と大幅に増加
- 店舗運営モデルの刷新とEDLP施策によるチラシの削減
⇒ 人件費、広告宣伝費は抑制

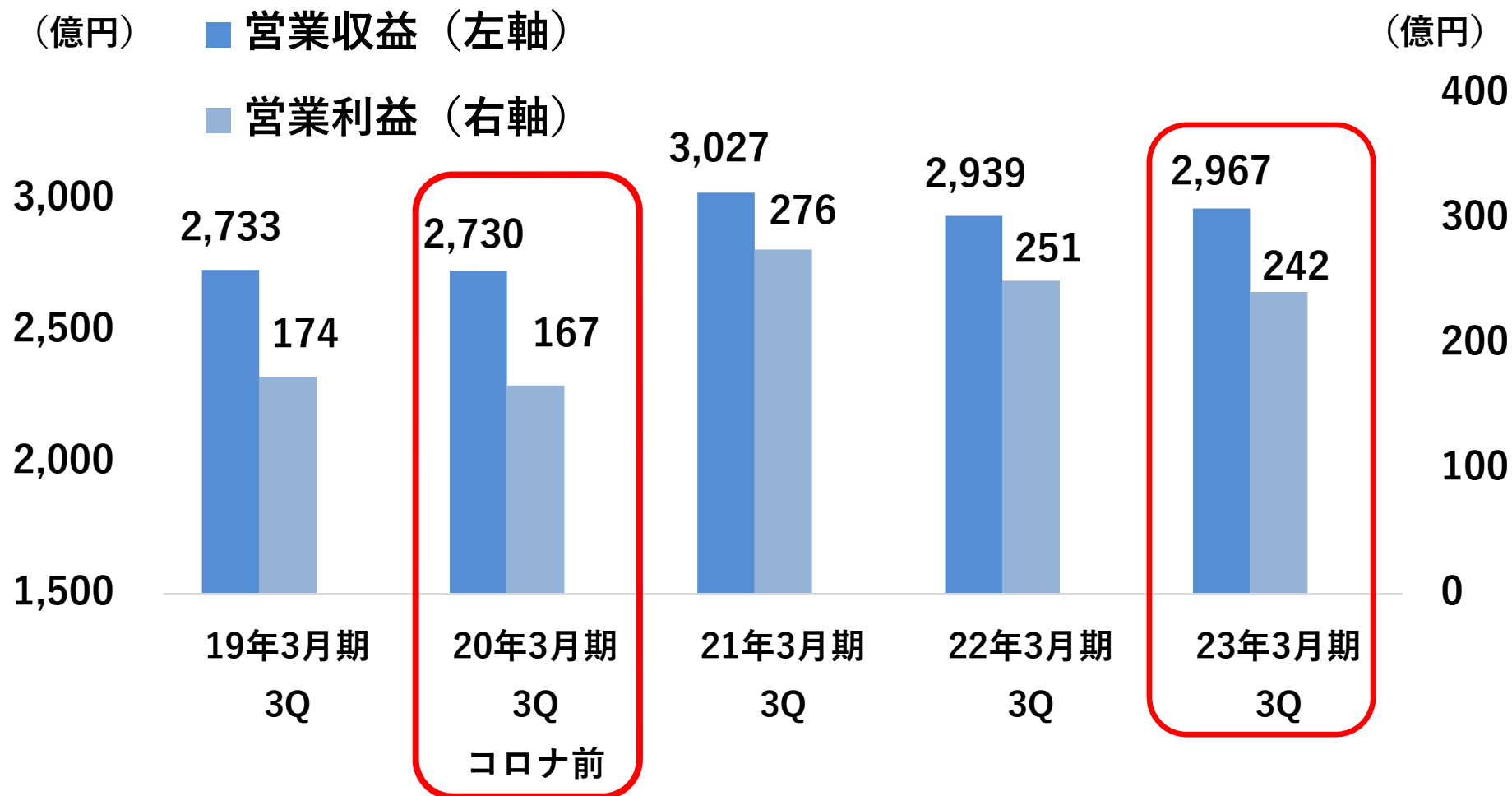
經常利益増減要因



(百万円)



営業収益・営業利益推移



売上・利益ともにコロナ前の水準を大きく上回っている

連結貸借対照表



(単位：百万円)

	科 目	2022年12月末	2022年 3 月末	前期末増減	2021年12月末	前年増減
資 産 の 部	流動資産	168,810	164,092	4,717	165,995	2,815
	うち 現金及び預金	23,702	19,422	4,279	31,801	▲8,099
	うち 商品	113,844	115,893	▲2,048	105,476	8,368
	固定資産	188,360	190,695	▲2,335	188,921	▲561
	うち 有形固定資産	161,823	163,252	▲1,428	162,619	▲795
	うち 無形固定資産	8,992	8,934	57	8,668	323
	資産合計	357,171	354,788	2,382	354,916	2,254
負 債 の 部	流動負債	97,848	101,568	▲3,719	102,272	▲4,423
	うち 短期有利子負債	13,302	15,463	▲2,160	19,757	▲6,454
	固定負債	32,947	39,379	▲6,431	37,412	▲4,464
	うち 長期有利子負債	14,655	21,065	▲6,409	21,354	▲6,699
	負債合計	130,796	140,947	▲10,151	139,685	▲8,888
	純資産合計	226,374	213,840	12,533	215,231	11,142
	負債・純資産合計	357,171	354,788	2,382	354,916	2,254

成長基盤投資






	2023年3月期 計画	> >	2025年3月期まで 3ヵ年投資計画
新規出店	32店舗 95億円	> >	100店舗 470億円
既存店 改装	売場面積の10%強 45億円	> >	毎年売場面積の10% 120億円
流通センター (非店舗)	新センター着工 既存センター機能拡充 30億円	> >	2センター新設 既存センター機能拡充 130億円
各種 システム投資	30億円	> >	80億円
合計	200億円	> >	800億円

当第3四半期の出店・改装実績



■ 出店 46都道府県1,215店舗

出店数				国内
第3四半期実績	4	1	5	10
通期計画	10	5	17	32

■ 既存店改装

	改装店舗数	改装坪数
第3四半期実績	123	約60,000
通期計画	165	約100,000

出店は来期へ持ち越す
 物件が発生
 通期見込みは21店舗
 改装は計画通り進捗

物流の強化



■ 商品力強化とローコストオペレーションの要

物流センターの機能拡充

九州流通センター：物流設備増設 2022年10月完了

新潟流通センター：FMC新設 2022年12月稼働

花巻流通センター：資材センター・FMC新設中

2023年7月稼働予定

関西流通センター：新センター進出協定締結

2025年2月稼働予定



← 今期稼働した新潟FMC（フレッシュマネジメントセンター）
切り花の流通加工を自社グループで行い、より新鮮な切り花を、
より安くご提供する。

賢和塾

不易流行の精神を実践できる人材を育成
コメリの教育体系をまとめ「賢和塾」に統合

商品知識・業務習得の教育環境整備

Eラーニング環境の整備と教育時間の確保

⇒ Eラーニングカリキュラムの充実と

勤務シフトへの教育時間の落とし込み

⇒ 22年3月期 教育人財投資額 13.1億円



職位・役職別カリキュラムに則って実施

経営理念研修 管理職・後継候補者教育

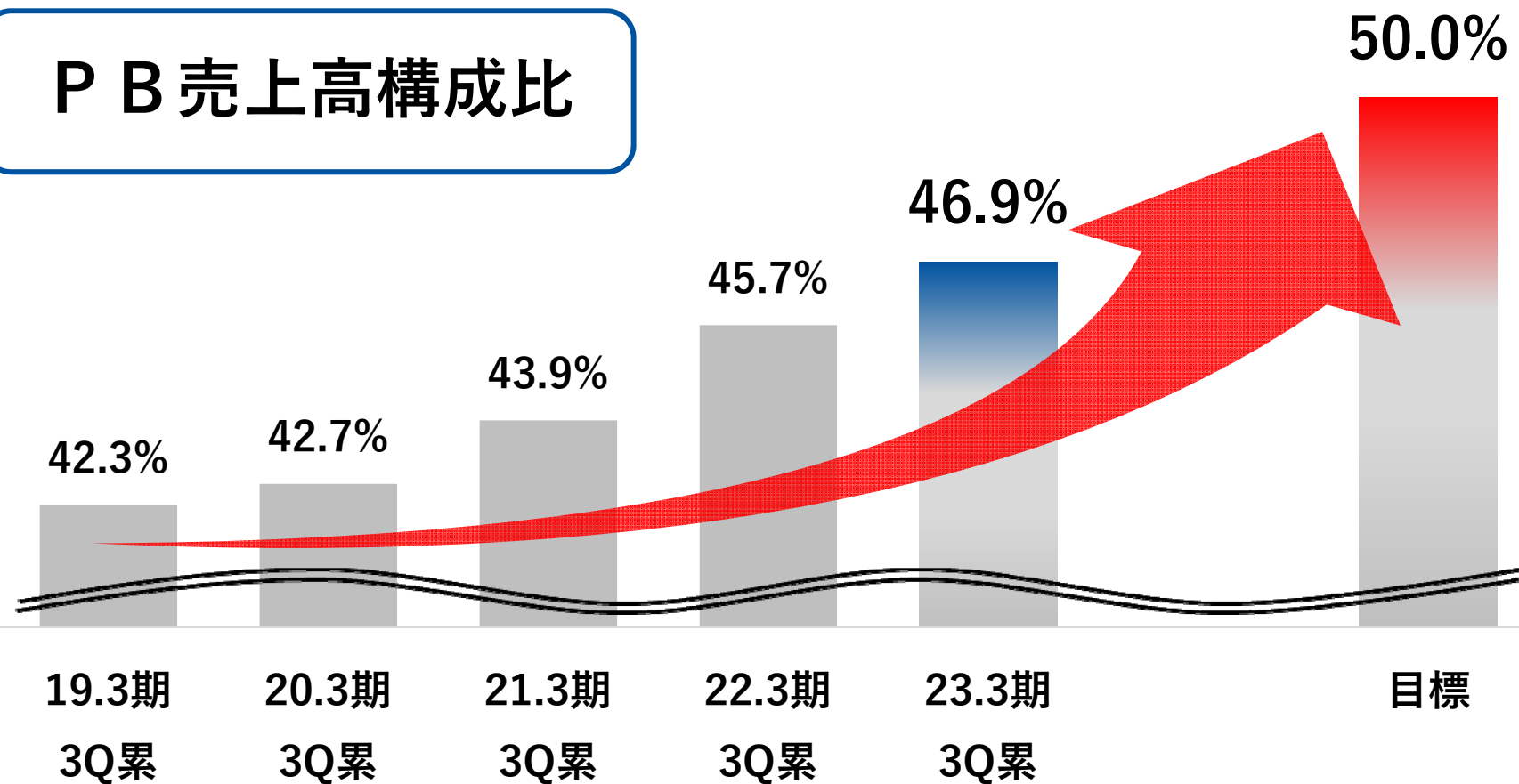
チェーンストア理論研修

暮らしを守り・育てる商品開発



- コストプッシュインフレのなか、
PB商品の価格優位性が高まり、販売も堅調に推移

PB売上高構成比



暮らしを守り・育てる商品開発



- お客様の潜在ニーズを顕在化
- 欲しかった商品を、リーズナブルな価格で



コメリオリジナル
自走式草刈機 速刈り君

客層の拡大により
新たな需要を創造

B-Share ハンディチェーンソー

欧米のヒット商品をPB化
軽量ボディで扱いやすい
果樹農家様からも好評

チェーンリフォーム



■ 全店フルリフォーム体制

サービス提供体制
カバー率
2022年10月～
100%

リフォーム事業
売上伸長率 108.6%

受付体制の整備
リフォームマイスター
3級 取得率 76%
2級 取得率 21%
(2022年12月時点)



お客様のお困りごとを
より身近な店舗で
解決できる体制が整う

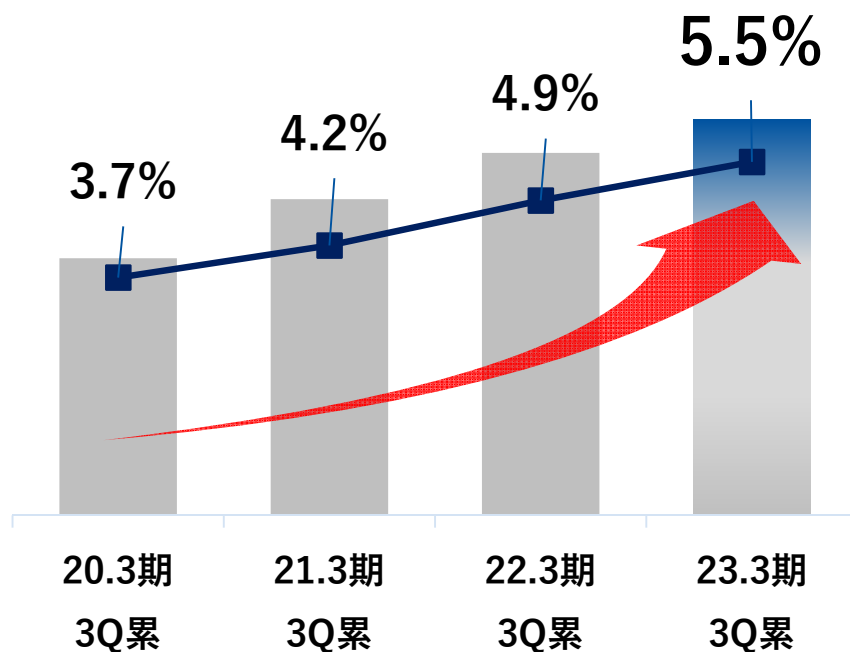
ネットとリアルでより身近に



■ 店頭受取比率は80%

EC売上前年比 112.2%

EC売上高とEC比率推移



スマホ決済「ココPay」
11月30日～



カード会員460万人+アプリでより効果的なCRMが可能

農業振興の取り組み



- 農林水産省の肥料価格高騰対策事業へ新たに参画
- 農業用品予約販売はご要望の多かった配達を強化
- JA伊勢との協業を2023年2月1日より随時開始

肥料価格高騰対策に関するご案内

申請を希望されるお客様はレジ従業員まで

**肥料の
支援金申請**

について
とお声掛けください

当店で購入した肥料も

支援金の対象

となります

■肥料価格高騰対策事業とは
化学肥料価格の高騰を受け、前年度から増加した肥料費高騰分の70%を支援金として補償する制度です
■支援金の対象者
化学肥料の産出に貢献した産地産業者

農業用品 **予約**

大袋肥料配達承ります。

※一部商品は除きます。



JA協業店舗
今期末で
25店舗に

商品知識の向上（農業資材マイスター2級 取得率 23.6%）とあわせ、より農業事業者様にご満足いただける体制へ

サステナビリティの取り組み



重要課題	主な取り組み内容	対応するSDGs
環境に配慮した事業の展開	<p>環境に配慮した商品・サービスの提供</p> <p>事業活動におけるCO₂排出量の削減と開示</p> <p>プラスチック包装容器の削減及び廃棄物の削減</p>	
少子高齢化社会における社会的インフラの提供	<p>新商圏への出店による店舗網の拡大と雇用の創出</p> <p>住まいに関するローコストな商品・サービスの供給体制の確立</p> <p>農産物等の食料生産に必要な生産資材の提供の推進</p> <p>災害時における生活必要物資の供給体制の構築</p> <p>DXの推進によるローコストオペレーション体制の確立</p>	
公正な取引の推進 事業活動における人権尊重	<p>「お取引にあたってのお約束」の遵守</p> <p>持続可能な原材料及び商品調達の実施</p> <p>多様な価値観・プライバシー等を尊重し、人種、民族的背景、性別、宗教、障害、年齢、性的指向等理由とした差別の禁止</p>	
多様性の尊重 働きがいのある環境づくり	<p>多様な人材がより能力を発揮できる教育体制の整備</p> <p>性別やライフステージに関わらず、従業員が活躍できる環境整備</p>	
コーポレートガバナンス強化への取り組み	<p>持続的な企業価値の向上のための体制整備</p> <p>取締役を含めた経営陣幹部の多様性の確保</p>	

2023年3月期業績予想の下方修正



(単位：百万円)

	当初 業績予想	前年比 (%)	第3四半期 累計実績	前年比 (%)	修正 業績予想	前年比 (%)	修正 増減額	増減率 (%)
営業収益	385,000	102.4	296,785	101.0	379,000	100.8	▲6,000	▲1.6
営業利益	28,500	102.4	24,215	96.4	25,700	92.4	▲2,800	▲9.8
経常利益	28,600	101.2	23,818	93.3	25,500	90.3	▲3,100	▲10.8
親会社株主に 帰属する 当期純利益	18,100	101.1	16,190	94.5	16,100	90.0	▲2,000	▲11.0

売上・荒利益率の状況と光熱費高騰等の状況を加味し、
2022年4月26日に公表した業績予想を下方修正いたしました。

※ 2023年1月31日開示 「連結業績予想の修正に関するお知らせ」



いつもそばに、ずっと

コメリ

【見通しに関する注意事項】

当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する記述が含まれている場合があります。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定に基づくほか、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。したがって、現実の業績は当社の見込とは異なる可能性があります。